

医師不足対策としての病院ネットワーク化を支援するバイパス整備

～診療機能の特化を助ける救急医療の搬送区域の拡大～

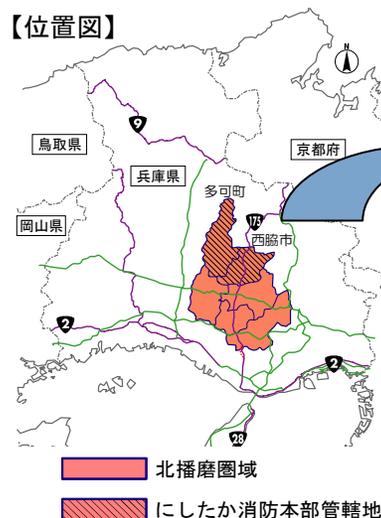
○医師不足などが課題となっている北播磨圏域において、バイパス整備が地域医療を安定的に提供するため策定された「北播磨圏域公立病院ネットワーク化計画」を支援。

○北播磨圏域の病院間の連携が進んだことにより、「にしたか消防本部」(管轄:西脇市、多可郡多可町)の管外搬送は、H12からH20にかけて2倍以上に増加。

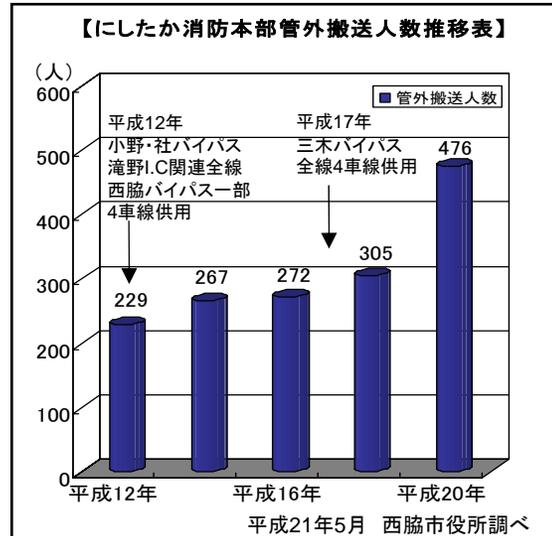
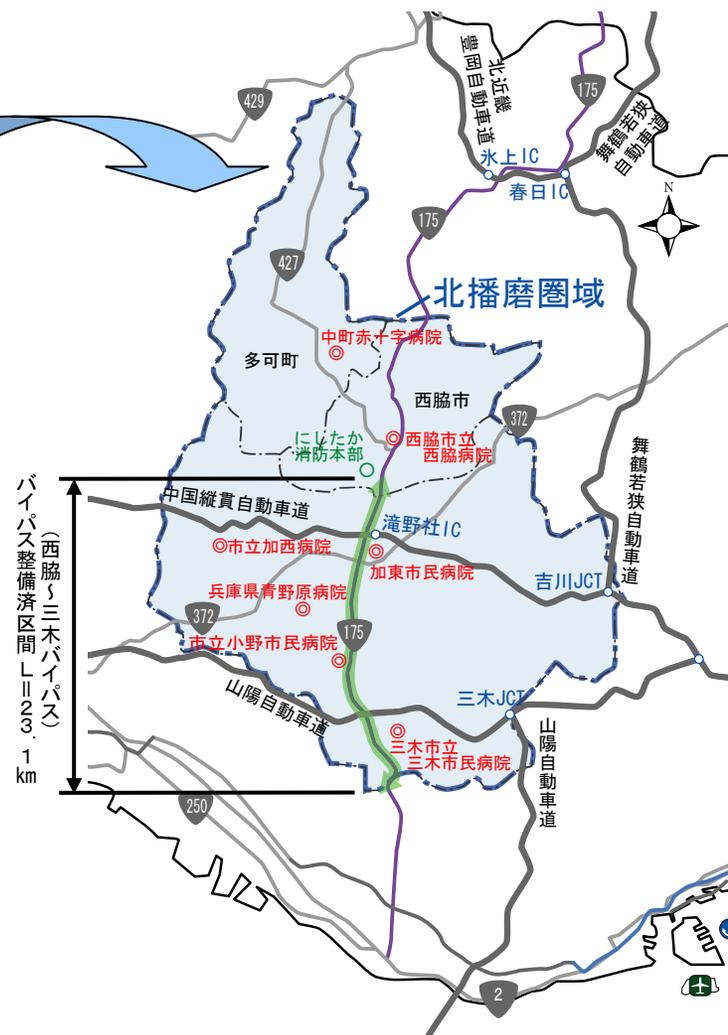
【現場の声】

・国道175号の4車線供用により、病院搬送時間の短縮及び緊急車両通過に伴う通路確保が可能となり、**通行の優位性及び利便性確保**に繋がっている。(にしたか消防本部消防課長)

【位置図】



【国道175号バイパス整備区間と北播磨圏域公立病院の現況図】



【整備されたバイパスを走行中の救急車】
場所: 国道175号(加東市)

注)「北播磨圏域公立病院ネットワーク化計画:北播磨圏域の市町長、病院関係者、兵庫県等による「北播磨地域医療確保対策圏域会議」によりH21.3策定